

## 新見公立短期大学の学生の読書について—報告 1—

難波 正義<sup>1)</sup>\*・原田 信之<sup>1)</sup>・桑原 一良<sup>1)</sup>

1) 教養科

(2005年11月9日受理)

本研究は一人でも多くの学生に読書習慣を身につけさせるための方法を考え出すことを目的として行った。そのために、2005年春休みに、看護学科1年生と2年生、地域福祉学科1年生、そして、5月の連休に、幼児教育学科1年生と2年生に、読書感想文を提出してもらい、その結果を分析した。この読書の課題は、正規の授業科目ではないので、提出は各自の裁量にまかせた。その結果、提出率は約87%であった。読まれた本を分類すると、ノンフィクションが多く(53%)、次いで、小説(23%)、実用書(17%)、随筆その他など(6%)、となった。もっともよく読まれた本は『五体不満足』であったが、281人中のわずか7人であった。このことは、学生が広範囲にわたって種々の本を読んでいることを示している。また、最近テレビで放映されたドラマを文字化した本や、新聞や雑誌で大きく宣伝されている本がよく読まれている傾向があった。このことは、歴史に耐えた良書が見のがされる危険性を示唆している。また、今回の感想文の分析より、学生に読書習慣を身につけさせるには、学生の目線にあった、あるいは、それより少し高いレベルの本を薦める必要があることが分かった。

(キーワード) 読書、読書習慣、感想文

読書習慣をもつことは、その個人の教養を高めることはもちろんであるが、専門職に従事している者にとっては、日進月歩で進む専門的知識を自習することにもつながる。この自習能力の獲得は、非常に重要である。耳学問や映像に頼っているだけでは、たしかな教養や専門的知識を身につけることはできないであろう。読書は生涯学習に欠かせない。

現在、若者の活字離れは著しい。それにともなう、大学では学生の一般教養力の低下がおこっている。したがって、大学で学生に本を読ませるように工夫することも重要な教育であろう。しかし、「読書」という漠然としたカリキュラムは、大学にはないのが一般的である。どの学問領域でも、本を読むことはもっとも基礎的なことになっているので、学生が本を読むのは当たり前のこととされている。はたして、現在の大学生はどれほ

ど本を読んでいるのであろうか。

今回の報告の目的は、学生に読書習慣を身につけさせるにはどのような方法があるかを探るためである。そのために、学生から提出された読書感想文の総合的分析を行い、今後の学生の読書の在り方について考察した。

### 材料と方法

読書感想文の収集：2005年3月の春休みに、看護学科1年生と2年生、および、地域福祉学科1年生から、また、同年5月の連休中に幼児教育学科1年生と2年生から、各自好きな本を読んでもらい、その感想文を提出してもらった。

\*連絡先：難波正義 教養科 新見公立短期大学 718-8585 新見市西方1263-2

## 結 果

## 1. 提出率

感想文の提出は学生の自由裁量としたが、思いのほか提出率はよかった（表1）。このよかった理由は、学生がまじめによくやってくれたことが第1にあげられる。そして、各学年担当教員が学生によく趣旨を伝えてくれたことが、第2の理由としてあげられよう。

表1 読書感想文提出率

学科	学年（入学年）	学生数	提出率（％）
看護	1 (2004)	62	98
看護	2 (2003)	59	100
幼児教育	1 (2005)	54	100
幼児教育	2 (2004)	52	54
地域福祉	1 (2004)	54	85
計		281	87（平均）

## 2. 読書ジャンル

どのような分野のものが読まれているであろうか。看護、幼児教育、地域福祉の3学科の全体のまとめを表2に示した。ノンフィクションものが過半数であった。データは省略したが、それぞれの学科で読書ジャンルの割合に少し違いがみ

表2 読書ジャンル

分類	割合（％）
小説	23
ノンフィクション	53
実用書	17
随筆その他	6

られた。すなわち、看護学科、地域福祉学科ではノンフィクションを読んだ学生が、57%、64%であったが、幼児教育学科では30%であった。一方、小説類に関しては、看護学科の16%に対して、幼児教育学科は32%、地域福祉学科は29%で、看護学科に比べ約2倍であった。

## 3. 比較的よく読まれた本

学生の読んだ本は、非常にバラエティに富んでいたが、あえてベストテンを選んでみた（表3）。もっともよく読まれた『五体不満足』は、7人の学生が読んでいた。次の2位、3位の本は、6人と5人が読んでいて、4位と5位は4人が、6位以下は3人の学生が読んでいた。

## 考 察

1. 読まれた本は、非常にバラエティに富んでいた。ベスト10、NO.1の『五体不満足』でも、わずかに7人の学生が読んだのみであった。このことは、また、学生は膨大な本の洪水の中にも示している。どの本でも読めば役に立つとは限らない。時には、読んでいて時間の浪費を感じる本もある。非常に多くの図書から良書を選ぶ力を養うことも重要であろう。

2. 最近TVで放映されたドラマを文字化した本とか、新聞や雑誌で大々的に宣伝されものがよく読まれる傾向にあった。例えば、『頭がいい人、悪い人の話し方』などは、後者の場合に当るであろう。そして、この本はネーミングで売られているように思われる。以上のように、学生の読書がかなりマスコミの影響をうけていることは、反対に、歴史に耐えた良書が見のがされる危険性を示している。

3. 学科によって読書傾向が相違した。たとえば、小説類は幼児教育学科と地域福祉学科でよく読まれていた。いっぽう、医療に関する実用書は看護学科で比較的よく読まれ、それぞれの学科の特色がうかがわれた。実用書については、将来、就職先の現場で読まざるを得なくなるものであろう。学生時代には、一般教養の力をつける意味で、別のジャンルのものを読んでおく方が良いのでは

表3 比較的良好に読まれた本

順位	書名：著者，出版社，出版年度
1	五体不満足：乙武 洋匡，講談社，1998
2	頭がいい人，悪い人の話し方：樋口 裕一，PHP研究所，2004
3	たったひとつのたからもの一息子秋雪との6年：加藤 浩美，文藝春秋，2003
4	Good Luck：アレックス・ロビラ／フェルナンド・トリアス・デ・ペス，ポプラ社，2004
5	夜回り先生の卒業証明：水谷 修，日本評論社，2004
6	“IT”と呼ばれた子：デイヴ・ペルザー，青山出版社，1998
7	子どもが育つ魔法の言葉：ドロシー・ローノルト，レイチェル・ハリス，PHP研究所，1999
8	青空のむこう：アレックス・シアラー，求龍堂，2002
9	蹴りたい背中：綿矢りさ，河井書房新社，2003
10	世界の中心で愛を叫ぶ：片山 恭一，小学館，2001

ないと思われる。

4. ノンフィクションものがよく読まれていた。ノンフィクションは、話がスッキリしており、しかも、テンポがスムーズに進み、それなりの感動を引き起こすので、もっともなことかもしれない。また、現在は、ノンフィクションものが本屋の店頭を賑わせている。

筆者の1人には忘れられない言葉がある。筆者の1人は学生時代、当時の三木岡山県知事から、「医者人間を知らなければ良医になれない。実際に治療する患者さんから経験するものだけでは、短い人生で、それほど多くの人間を知ることはいかならない。できるだけ多くの本を読んで、人間

を知るように」と話されたことがある。その時の知事の話には、小説のなかにさまざまな人生が描かれているというニュアンスが含まれていたように思う。話は横道にそれるが、三木知事は医学部の出身であった。その時、知事は社会を治す医者になったとも語った。

この三木知事の上の指摘はもっともなことだと思う。小説にはさまざまな人生が登場する。小説を読むにはかなりの辛抱がいるが、読みながらいろいろ考えさせられる。すっきりとした結論がでるわけでもない。しかし、人生の勉強のためには、小説は大変役に立つのではないかとも思う。

謝辞 本研究の調査のために、ご協力いただいた  
教養教育委員会の各教員、各学科の学級担任教員  
(看護学科：杉本幸枝助教授、小野晴子助教授、  
幼児教育学科：金山和彦講師、地域福祉学科：

松本百合美講師)、そして、データの整理を手伝  
ってくれた幼児教育学科1年生森岡真菜君に厚く  
お礼申し上げます。

### **Books Read by Students of Niimi College –Report 1 –**

Masayoshi NAMBA, Nobuyuki HARADA, Kazuyoshi KUWAHARA

The Department of Liberal Arts, Niimi College, 1263-2 Nishigata, Niimi, Okayama 718-8585 Japan

#### Summary

We attempted to learn what measures could be useful for letting students of Niimi College read more books. For this purpose, we asked students of Nursing, Early Childhood Education, and Community Welfare Courses of this college to voluntarily submit their impressions of the book they read recently. Then we analyzed what books the students liked to read. As a result, more than 50% of them read books classified as non-fiction. About 30% of students of Early Childhood Education and Community Welfare Courses read novels, but only 16% of the students of Nursing Course did so. Interestingly, the books which have recently been dramatized on TV or strongly advertised in the newspapers or magazines showed a tendency to be read more frequently. These findings indicated that there are some problems for students to choose books worth reading. Whether recommendation of books from each teacher to the students can enhance their willingness to read and advance their selection power remains to be studied in the future.

Key words: reading books, reading habit, book reports